

「未来に伝える山形の宝」登録制度ロゴマークの審査結果について

地域にのこる有形・無形の様々な文化財を保存・活用する取組みを登録する標記制度を県内外の方に広く周知するためのロゴマークについて、下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

記

1 募集期間

平成 29 年 6 月 14 日（水）～9 月 30 日（土）

2 応募結果

応募総数 266 作品（応募者数 181 名）

3 審査結果

最優秀賞 野田 悟史さん（千葉県）



【選定理由】

山形県の精神文化を象徴する山々と母なる最上川をモチーフに、地域に伝わる宝を表す星がちりばめられ、制度の意図が明確で端的に表現されている。力強さ、ダイナミックさが感じられ、これからも山形の宝を伝えていこうという意思が伝わる。

「未来に伝える山形の宝」登録制度

目的 地域に残る有形・無形の様々な文化財を保存・活用する取組みを「未来に伝える山形の宝」として登録し、推進することで、文化財の保護を図るとともに、郷土に対する誇りと愛着を育み、地域活性化や新たな交流の拡大につなげていく。

対象 共通する歴史的・文化的・自然的テーマを背景として相互に結びついた複数の文化財により構成されており、それらの文化財の保存と、地域（歴史的・文化的・自然的な結びつきを有する一定のエリア）における文化財の活用が一体となった取組みを登録。